

# 看護大学 だより #1

新しい学び・人・キャンパス  
福岡看護大学の魅力を  
ご紹介します!



福岡看護大学の正面玄関を入ると、3階まで吹き抜けの開放的な空間が広がり、エントランスホールに続く木目の美しい大階段の先では、美しいステンドグラスが私達を迎えてくれます。本学園の水田理事長は、「建物内部を吹き抜けにすることを決めた時、約50年前、英国リバプール大学留学中、友人達とのアイルランド旅行の折りに、鄙びた教会で出会って心を揺さぶられたステンドグラスの窓が思い浮かび、ぜひ設置をと思った。私が構想したステンドグラスの図は、もちろん近代看護学の生みの親であるフローレンス・ナイチンゲール女史であることは言うまでもない。凜とした姿のナイチンゲール女史に見守られて、学生たちは時には癒され、時には励まされて真摯に看護学を学んでほしい



と切に願う。」と、熱く述べられています。そして、そのステンドグラスの左側にひときわ目を引くのは、開学に合わせて福岡歯科大学同窓会から寄贈された漆黒に輝くグランドピアノです。自動演奏もできるこの美しく有能なピアノは、ナイチンゲール像と共に、学生・教職員はもちろんのこと、大学を訪れる地域の人達をも癒し、そして鼓舞してくれることでしょう。

(大久保つや子・寒水章納)

# 短大 VOICES #1

夢を叶える場所  
「福岡医療短期大学」  
多くの出会い・絆を生んでいる  
短大の情報をお届け!

歯科衛生学科同窓会「瑞樹会」

会長 赤木 万喜子



## ◆この場所から 歯科衛生士としてできること

緑輝く季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。私は短大の前身であります福岡歯科大学附属歯科衛生専門学校の1期生です。

歯科衛生士となって早34年。卒業後は福岡歯科大学附属病院に5年間勤務し、その後は医療事務を学んだり、保健所での乳幼児健診の補助や歯科保健指導を行ったりしておりましたが、再び臨床の場に戻り22年になります。歯科衛生士の仕事は歯科予防処置、歯科診療の補助、歯科保健指導などですが、近年歯や口腔の健康は全身の健康と大きく関わっていることがわかってきており、食事や会話など生き生きとした生活を送るための歯科衛生士の役割に関心が高まっています。

歯科衛生士の活動の場は診療所や病院が中心ですが、生涯を通じて歯の健康づくりや口腔ケアを支援するため保健所や教育の場、介護施設など地域にも大きく広がってきました。私も毎日患者さんと接しながら、今のこの場所から歯科衛生士としてできることを探している日々です。

瑞樹会も私たち1期生の卒業と同時に昭和58年に発足し、今年35年目を迎えました。毎年5月に研修会と総会を行っております。同窓会にぜひご参加ください。皆様にお会いできるのを楽しみにしております。